

平成22年度予算

第1回町議会定例会（3月9日）19日）で平成22年度各会計予算案が審議され、原案どおり可決、承認されました。全会計の総額は58億4606万円となり平成21年度当初予算と比較すると1.2%減少します。国の緊急経済対策に関連した平成21年度予算からの繰越事業は、6億2165万円で、これを加えた額を平成21年度当初予算と比較すると9.3%増加します。

下水道事業特別会計は平成21年度に、利子負担を軽減するため7149万円を繰上償還（借金の前倒し返済）したことで、前年度からは28.3%減少しました。

詳しくは「まちづくり読本」（予算説明書）でお知らせしますが、今回は今年度の主な事業や、子育て支援関連予算の緊急経済対策に関連した地域活性化・経済危機対策交付金事業などの繰越事業をお知らせします。

一般会計 51億9584万円

平成22年度各会計予算額

各会計	22年度予算額	21年度予算額	前年度比
一般会計	51億9584万円	51億8570万円	0.2%
特別会計			
国民健康保険	3億802万円	3億415万円	1.3%
後期高齢者医療	8093万円	7867万円	2.9%
下水道	2億1036万円	2億9346万円	28.3%
農業集落排水	5091万円	5340万円	4.7%
計	58億4606万円	59億1538万円	1.2%

主な事業

【世代を超えてふれあつまち】

肺炎球菌ワクチン予防接種事業 53万円
30代女性の乳がん検診事業 75万円
町民健康づくり対策事業 363万円

高齢者除雪事業 293万円

高齢者インフルエンザ予防接種事業 150万円

障害者自立支援事業 1億4919万円

児童デイサービス通園交通費支援事業 19万円

農産物ブランド化推進事業 110万円

農業基盤整備事業（8地区） 4389万円

冷湿害等農業経営維持資金利子助成 49万円

有害鳥獣駆除対策事業 176万円

割増商品券発行事業補助金 800万円

国・北海道融資制度資金利子補給事業 150万円

各種イベント開催事業 600万円

【笑顔が輝く学びのまち】

小中学校デジタルテレビ整備事業 437万円

新十津川農業高校教育振興事業 300万円

新十津川アートの森整備事業 8681万円

新十津川尚武会100周年記念支援事業 23万円

ふるさと公園内体育施設管理運営事業 3461万円

【自然と共に暮らす優しいまち】

安全安心推進協会支援事業 125万円

地域防災力強化事業 23万円

道路整備事業（西2線改良工事） 1億880万円

除雪機械購入事業 2731万円

公営住宅建設事業（青葉団地） 1億5682万円

地域公共交通活性化事業 472万円

【みんなが主役で創るまち】

開町120周年記念事業 825万円

環境基本計画推進事業 122万円

歳入について

本町は、国や北海道から交付される依存財源が大きな割合を占めています。

本年度は、新十津川アートの森整備事業で道支出金と町債を財源とすることで、依存財源の割合が平成21年度当初予算の78・2%から0.6ポイント増加しました。

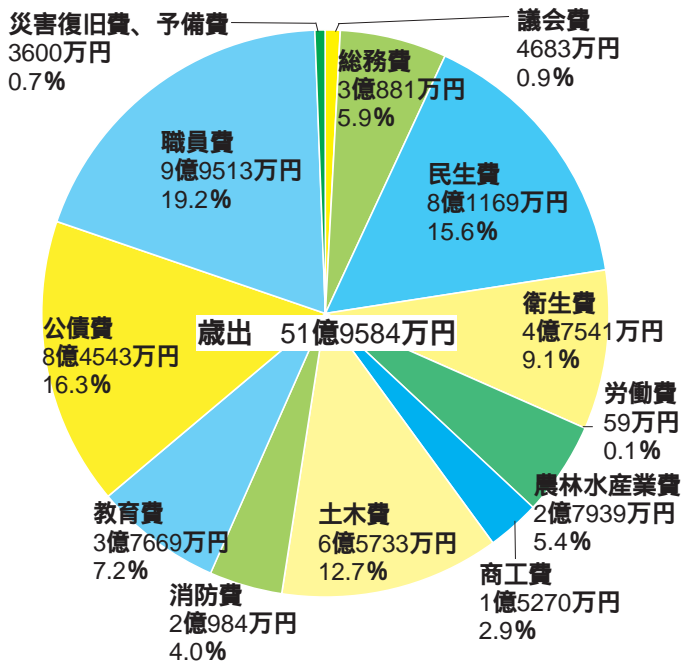
歳入のうち最も大きな割合を占める地方交付税は、前年度から5000万円減少すると見込んでいます。

歳出について

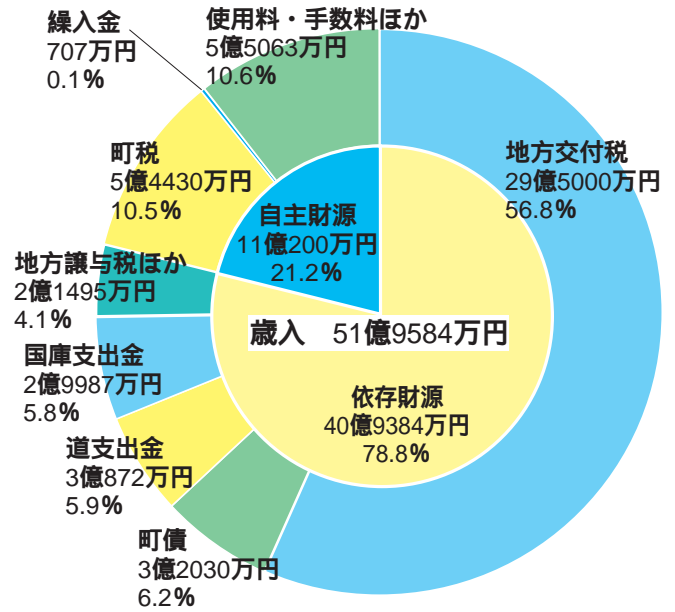
平成21年度当初予算と比較すると、民生費は子ども夢基金の創設で2億円を積み立てることや、子ども手当の支給が開始されることで、前年度から49・8%増加しています。農業費は農業基盤整備事業の実施面積の減少により、前年度から21・1%減少しています。

教育費は新十津川アートの森整備事業として旧吉野小学校の改修工事を行うため前年度から8274万円増加しています。

一般会計 歳出 グラフ



一般会計 歳入 グラフ



国の緊急経済対策関連 繰越事業

平成21年度予算から繰り越して実施する事業の一部をお知らせします。

街路灯改修事業

1435万円
菊水2号通りなどの街路灯

82基をナトリウム灯に交換して支柱を塗装します。

道路改修事業

7800万円
西1線の南12号から南13号

までの区間を舗装しなおします。南4号線の西2線から

文京西3線までの区間に歩道を新設します。

道路改築事業

6580万円
町道4路線（西1線、総進

西6線、南13号線、北5線）の道路の補修します。

中学校耐震補強・大規模改修事業 3億4093万円

耐震2次診断の結果を踏まえて必要な部分を補強し、

あわせて校舎を改修します。そつち岳スキー場整備事業

523万円
リフトワイヤーの交換と、

リフト原動モーターを分解し、手入れします。

子育て支援関連予算

町が重要な施策として取り組んでいる子育て支援を推進するため、対象者を拡大するなどして次のことに取り組みます。

子ども夢基金積立金

2億円
子どもの育成と子育て支援

施策の財源とするため、子ども夢基金を新たに設けて

2億円を積み立てます。子ども生活応援事業

495万円
できつずカードの対象世帯

を小学生がいる世帯から、中学生の子どもがいる世帯

まで拡大します。乳幼児等医療費助成事業

1687万円
通院にかかる医療費助成を

未就学児から小学生以下に拡大し、入院にかかる医療

費助成を小学生以下から中学生以下に拡大します。

医療費助成事業の対象者の拡大は8月から

問合せ

総務課財務グループ
☎ 76・2131